

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
福祉心理演習	北村 香織	演習	4		1, 2, 3, 4	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	この演習では、福祉心理基礎演習で検討してきたテーマをさらに明確にして、研究課題を設定し、各自取り組んでいく。また、課題に対して適切な研究方法についても学ぶ。具体的には、基礎演習と同じく各自の研究課題についてレジュメなどを用いながら報告を行い、ゼミ内で討議する形を基本とする。最終的には卒業論文完成を目標とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分の意見を適切に述べるができる。</li> <li>2 社会福祉学の基本的研究方法について理解し、課題を検討できる。</li> <li>3 研究内容を卒業論文にまとめる。</li> </ol>						
回	学習内容	回	学習内容				
1	オリエンテーション (1年振り返り、年次計画)	16	各自のテーマ報告と討論				
2	論文とは何か?	17	報告 (テーマ設定の適切性)				
3	テーマ設定や報告の方針を決める	18	報告 (テーマを深めるとは)				
4	報告 (個人の関心と生活問題)	19	報告 (接近方法の適切性の検討)				
5	報告 (生活問題と社会問題)	20	報告 (事例の取扱についての検討)				
6	報告 (対象設定の方法)	21	報告 (文献の使い方)				
7	報告 (対象への接近方法とは)	22	報告 (論文の体裁についての検討)				
8	報告 (接近方法の検討)	23	卒論にむけての留意事項と自由テーマ討論準備				
9	報告 (研究と実際の生活の距離)	24	自分たちで決めたテーマでディベート				
10	これまでの報告のふりかえり	25	施設訪問・ボランティア参加				
11	フィールドワークにむけて文献検討	26	第 25 回の振り返り、1 年生へのアドバイス				
12	フィールドワークにむけての報告	27	卒業論文執筆				
13	フィールドワークへの準備作業	28	卒業論文最終指導				
14	フィールドワークまとめ	29	卒業論文報告会				
15	卒業論文テーマ設定	30	卒業論文に関する講評と 1 年半のまとめ				
予習内容 復習内容	予習：報告者は報告準備。それ以外は、次の報告テーマについて調べておく。 復習：演習で話し合った内容と課題について再度調べまとめておく。						
教科書	特に使用しない。参考文献は適宜提示。						
成績評価	報告内容、ゼミへの参加度 50%、卒業論文 50%。						
実務経験	障害者支援施設で勤務経験有。社会福祉サービス利用者・家族・職員各々の視点を提示します。						
その他 特記事項	特になし						